



# 未来を切り拓く

2026年1月29日(木)発行 文責：石田 浩一

〈2025年度 学校教育目標〉

「夢を育む学校創り」

～人権尊重の精神のもと、

自ら学び、心豊かでたくましく生きる

実践力のある生徒の育成～

保護者や地域の皆様、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今月初めの地震では、本校に大きな被害はありませんでしたが、今後も予断を許さない状況が続くと思われます。安全確保に努めながら、今後も子どもたちが安心して学べる環境づくりを進めてまいります。寒さ厳しい折ですが、生徒たちは気持ちを新たに、学びに意欲を燃やしています。本年も地域とともに、笑顔あふれる学校を築いてまいります。

## § 1 江津の未来をつくるのは私たち！ ～学生×議員 ブラッシュアップ勉強会の様子から～

1月26日(月)、江津市役所多目的ホールにて開催された「学生と議員とのブラッシュアップ勉強会」に、本校3年生を代表して9名が参加しました。この会は、地域の未来を担う若い世代が、市の現状や課題について主体的に考え、市議会議員の皆さんへ直接提案する貴重な機会として企画されたものです。当日は、本校のほかに、江津高校、江津工業高校、石見智翠館高校の3校が参加し、中学生と高校生が互いの発想に触れながら、まちづくりについて深く考える機会となりました。



(議員の方からコメントをいただいている場面)

開会后、2番目に本校生徒が登壇し、日頃感じていることをもとに、江津市の現状に対する課題意識を提案として丁寧に述べました。

1つ目の提案は「通学路に街灯やカーブミラーを設置してほしい」という、安全に直結する切実な内容です。生徒たちは、通学する中で感じる事(暗い道や見通しの悪い交差点など)を洗い出し、その危険箇所を地図上に整理して提示しました。夜間の視界の悪さ、川沿いで柵がない道、交通量が多い時間帯など、具体的な課題を写真や位置情報とともに示したことで、議員の皆さんからも「実態がよく伝わる」と評価をいただきました。



2つ目の提案は、「江津高校と江津工業高校の統合に伴う跡地活用」についてです。生徒

たちは、神楽公演や地域の祭りの会場となる「イベントスペース」、学習スペースを備えた「図書館」、給食体験や制服貸出を含む「大人の学校体験」による観光資源化など、多角的なアイデアを示しました。さらに、プール・テニスコート・体育館などの公共スポーツ施設としての貸し出し、トレーニングジムの設置、飲食店や旅館などの新たな出店、江津市のPRのための映画製作など、地域活性化を視野に入れた提案も含まれていました。生徒たちの柔軟な発想が光り、「若い世代の視点だからこそ気付けること」と議員の皆さんも感心されていました。

3つ目の提案は、「中学生が意見を届けるための行政窓口を設置してほしい」というものです。この提案の背景には、こども基本法に示される「意見表明・参加の権利」への理解があり、自分たちの声が地域をよりよくする力になることを実感してほしいという願いが込められていました。生徒の提案に対しては、「子どもの声を受け止める体制づくりはこれから必要になる」「一緒に考えていきたい」など、議員の皆さんから前向きな反応をいただき、生徒にとって大きな励みとなりました。



さらに、生徒たちは各高校の提案にも熱心に耳を傾け、高校生ならではの視点の深さや切り口の違いから多くのことを学びました。議員の皆さんとの質疑応答をとおして、自分たちの意見が行政の仕組みとどのようにつながっていくのかを知ることができ、「まちづくりは市民一人ひとりの声から始まる」という実感を高める機会にもなりました。

今回の勉強会を踏まえ、2月19日（木）に予定されている江津市長への提言につなげていくため、生徒はさらに発表内容を磨いていき、準備を進めていきます。自分たちの考えをより明確にし、地域の未来に向けて責任ある発信者となるよう、引き続きサポートしていきたいと思えます。

## § 2 3年生へエールを込めて ～学業成就米の贈呈式～

1月16日（金）、本校にて島根県農業協同組合（JAしまね）による「学業成就米」贈呈式を行いました。JAしまね代表者の方から、受験や卒業を迎える3年生へ、令和7年産の島根県産米が手渡され、温かい激励の言葉をいただきました。いただいたお米は、受験当日の朝食や卒業式の日など、思い出に残る大切な場面で、ぜひ活用してほしいとのことでした。

地域の農家の皆さんが心を込めて育てられたお米には、生徒一人ひとりの努力を後押ししたいという思いが込められており、代表の生徒は真剣な表情で受け取っていました。

今回の温かいご支援に心より感謝申し上げます。



（贈呈された学業成就米）